

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取り組みの状況

■中小企業の経営支援に関する取組方針

当金庫では、「地域とともに歩み、地域とともに発展する」という理念のもと、「地域密着型金融の推進」を経営の重要課題とし、役職員一丸となって積極的に取り組んでおります。

今後も、各種相談会・セミナーの実施やビジネスマッチング機会の提供など、地域の経済や社会の活性化に貢献していくとともに、コンサルティング機能を積極的に発揮して、お客様の経営課題に応じた最適な解決策を、お客様の立場に立って提案・支援してまいります。

また、お客様からの資金に関する相談や貸付条件の変更等のお申込みがあった場合には、お客様の抱えている課題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取り組んでまいります。

■中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組状況

当金庫では、お取引先中小企業の経営を支援するための部署として企業サポート部を設置しております。

企業サポート部には、中小企業診断士3名をはじめとし、総勢9名の職員を配置して、商工団体協力機関など外部中小企業支援機関や、大学等研究機関等と連携し、態勢の整備を図っております。

また、事業性評価や課題解決に関する研修を実施し、人材の育成にも取り組んでおります。

経営革新等支援機関の認定

中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として平成24年11月5日付で認定を受けました。

各営業店を通じて企業経営に関する様々なご相談を受け付け、関係部署およびちばしんきんコラボ産学官の協力機関と連携し、補助金事業等の中小企業支援策についての情報提供や中小企業が抱える課題解決に向けて積極的に取り組んでおります。

中小企業の皆様

相談 ↓ 支援 ↑ 提案

千葉信用金庫
経営革新等支援機関

営業店49店舗

連携 ↑ ↓

企業サポート部

連携 ↑ ↓

【外部機関】

- ・千葉県産業振興センター
- ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター等

経営支援等の取り組み実績

当金庫では、支援対象先に対し営業店と企業サポート部が一体となって経営改善計画策定支援や経営情報等の提供を行うとともに計画進捗管理、業況管理等により、お取引先企業の経営改善に取り組んでおります。

【令和2年4月～令和3年3月】

	期初 債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数			経営改善 支援 取組み率 α/A	ランク アップ率 β/α	再生計画 策定率 δ/α
			β	γ	δ			
正常先 ①	6,154	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
要注意先 うち その他 要注意先 ②	986	16	0	15	15	1.6%	0.0%	93.7%
うち 要管理先 ③	20	2	0	1	2	10.0%	0.0%	100.0%
破綻懸念先 ④	146	7	0	7	4	4.7%	0.0%	57.1%
実質破綻先 ⑤	323	0	0	0	0	0.0%	—	—
破綻先 ⑥	32	0	0	0	0	0.0%	—	—
小計 (②～⑥の計)	1,507	25	0	23	21	1.6%	0.0%	84.0%
合計	7,661	25	0	23	21	0.3%	0.0%	84.0%

- (注) ・ 期初債務者数および債務者区分は令和2年4月初時点で整理。
・ 債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む。）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含めない。
・ βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めない。
・ 期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含める。
・ 期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。
・ γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載。
・ 「αのうち再生計画を策定している全ての先数 δ」には、金融機関独自の再生計画策定先のほか、中小企業再生支援協議会、RCC、地域経済活性化支援機構、産業復興機構、東日本大震災事業者再生支援機構などと連携した再生計画策定先を含む。

1. 成長段階における支援

ちばしんきんコラボ産学官の活動

「ちばしんきんコラボ産学官」は、中小企業にとって、身近な金融機関である信用金庫が産学連携の窓口となることで、専門的な知識・技術を必要とする県内中小企業と研究成果を産業に活かそうとする大学等研究機関との橋渡しを行う目的で、当金庫が事務局となって平成19年に設立いたしました。

会員企業を訪問し技術課題や経営課題に対応するとともに、各地でセミナーや相談会を開催する等、地元中小企業への支援活動に取り組んでおります。(令和3年3月末現在の会員数140社)

海外進出企業支援に関する業務提携

平成26年2月より経済産業省や外務省が主体となって開始された「海外展開一貫支援ファストパス制度」に千葉信用金庫として登録し、お客様の海外展開支援のお手伝いをする体制整備を図っております。

お取引先企業からの海外進出に関するご相談に対し、信金中央金庫との連携により、海外ビジネス支援、海外販路開拓支援、外国人関連ビジネス支援、人材派遣、人材育成支援等、海外ネットワークを活用し、サポートを行っております。

2. ビジネスマッチングへの対応

2020食のカタログ商談 in CHIBA

例年開催している「しんきん食の商談会」が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

これに代わり、千葉県内の5信用金庫（千葉、銚子、東京ベイ、館山、佐原）・千葉県信用金庫協会・信金中央金庫・ちばしんきんコラボ産学官と共催し、新型コロナウイルスの影響を受ける地域企業支援の一環として、「カタログ」にてサプライヤー企業を紹介し、バイヤーとのマッチングを支援いたしました。



ちばしんきん経営者会

ちばしんきん経営者会は、当金庫のお取引先の経営者で構成する会員組織です。

「新しい時代の経営環境に適應できる会員の経営力の向上と、その企業の健全な発展を図ること」を目的として平成2年に発足し、今日に至っております。

その時々ニーズに合ったセミナーが企画・開催され、業種の垣根を越えた交流会はビジネスマッチングおよび地域の活性化の場として貢献しております。(令和3年3月末現在の会員数250名)

3. 各種補助金等公的支援の活用

助成金、補助金等の申請サポート

新型コロナウイルス感染拡大により影響を受けたお取引先へ「持続化給付金」・「千葉県中小企業再建支援金」・「雇用調整助成金」申請等に係る支援を行いました。

また、中小企業の新規資金需要等の後押しを目的として、ニーズの高い「ものづくり・商業・サービス補助金」・「働き方改革推進支援助成金」・「事業再構築補助金」などの情報提供に加え事業計画作成サポート等を実施いたしました。

中小企業の経営課題等、真のニーズに対する情報提供や提案等、本部と支店が一体となった取り組みや外部機関との連携により支援活動を実施しております。

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取り組みの状況

4. 外部専門家・外部機関等との活動

市原商工会議所 無料経営相談会

市原商工会議所とのコラボレーションにより、新型コロナウイルスの影響で景況感の厳しさが増す中で、中小企業の経営を伴走型で支援するため、千葉信用金庫市原市内4店舗（牛久、八幡、姉崎、青柳支店）で無料経営相談会を実施いたしました。

相談員：市原商工会議所経営指導員、市原市産業支援センターコーディネーター
相談件数：11件

相談内容：創業、販路拡大、補助金の活用、新たな事業展開、事業承継、その他



企業実地診断

地域の中小企業に対する総合的な支援の一環として、無料で取引先への「企業実地診断」を行っております。

中小企業診断士の資格を有する当金庫職員が、お取引先企業に土日を含み連続9日間のスケジュールで、経営全般に関する課題を明確化して改善策を提案するなど「総合的な企業診断」を行っております。

令和2年度は2社に対して実施いたしました。



コンサルティングサービス

事業承継や遺産相続、日常生活におけるトラブルなどに関する法的解決や、相続税や自社株対策などの税金に関するご相談を、当金庫の顧問弁護士、顧問税理士に無料で相談できる「法律相談」「税務相談」を実施しております。

また、年金制度のしくみや年金のお受取に関する様々なご質問などにお応えするため、社会保険労務士または当金庫の年金アドバイザーが営業店を定期的に巡回して、「年金相談会（無料）」を実施しております。

5. 「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しております。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。

	令和2年度
新規に無保証で融資した件数	2,076件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	17.03%
保証契約を解除した件数	83件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件

■地域の活性化に向けた取り組み

しんきん圏央道アライアンスに関する取り組み

圏央道沿線に本・支店を置く5つの信用金庫（千葉、水戸、埼玉縣、平塚、多摩）が、地域貢献・地方創生を通じて地域経済の発展につなげることを目的とした「しんきん圏央道アライアンス」の協定を締結しております。

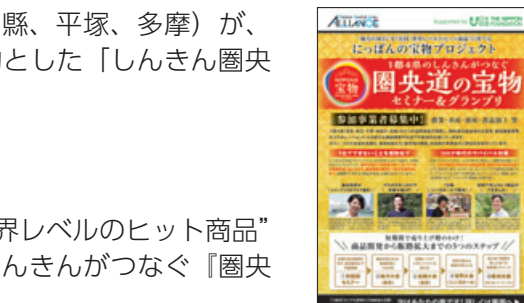
「圏央道の宝物セミナー&グランプリ」の開催

「しんきん圏央道アライアンス」は、“地方の原石”を“全国・世界レベルのヒット商品”に育てる「にっぽんの宝物プロジェクト」と共催し、「1都4県のしんきんがつなぐ『圏央道の宝物』セミナー&グランプリ」を開催いたしました。

「圏央道の宝物セミナー」

セミナーでは、令和2年10月から3回にわたり、圏央道沿線地域の生産者・製造事業者等（各信用金庫約20社、5つの信用金庫全体で約100社）が集い、業界を超えた対話型セミナーを通じて、自社商品のブラッシュアップや、参加者同士のコラボレーションによる新商品開発に取り組みました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、講師が登場するリアル会場と、他の会場をオンラインでつなげて同時中継する、withコロナ時代における新しい試みとなりました。



「圏央道の宝物グランプリ 2020-2021」

セミナーの成果を披露する場として、令和2年12月にセミナー参加事業者の代表として、一次予選を通過した16チーム（約35事業者）によるプレゼンテーション型グランプリを開催いたしました。

外部有識者の選考により、グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞、しんきん圏央道アライアンス特別賞等として表彰し、当金庫からの出場3チームも表彰を受けました。



Instagram公式アカウントの開設、投稿を開始

「しんきん圏央道アライアンス」では、令和2年6月にSNSのInstagram公式アカウント「Deep圏央道」を開設いたしました。

5つの各信用金庫職員が「地域レポーター」となり、信用金庫職員だからこそ知っている隠れた名産品や自然景観などを掘り起こし、地域の魅力を発信しております。



「Deep圏央道」の
Instagramはこちらから！



「Deep圏央道Plus」情報紙の発行

各信用金庫の「地域レポーター」が、令和3年6月に「知る」という切り口で情報紙「Deep圏央道plus」を発行いたしました。

圏央道沿線1都4県の歴史スポットの紹介、事業者紹介やクーポン情報などを一挙に盛り込み、圏央道沿線地域の魅力をPRしております。



景気動向調査レポート

当金庫営業区域内の中小企業を対象として、景気動向調査を実施しております。

四半期毎にお取引先約500社にアンケートを配付し、地域経済の動向について調査結果を取りまとめ、事業者の皆様の経営にお役立ていただいております。

平成16年4月に第1号を発刊し、令和2年度は4回の発刊をいたしました。



千葉信用金庫の取り組み

■SDGsへの取り組み

当金庫は、国連で採択された「SDGs（持続可能な開発目標）」に賛同し、2020年3月に「SDGs宣言」を公表いたしました。地域金融機関の特性を活かし、今後も当金庫の事業活動の一環としてSDGsの達成に貢献してまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



千葉信用金庫のSDGsの
取組内容につきましては、
こちらをご覧ください。



SDGsとは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」を基本理念として、世界中の全ての人々が幸せに暮らすことができる社会を作るための「17の目標」と「169のターゲット」で構成されております。

■しんきんSDGs私募債「ちいきのミライ」の受託について

しんきんSDGs私募債「ちいきのミライ」は、商品特性としてSDGs達成に向けた用途への寄付を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを目的に発行金額の一部を寄贈します。

私募債の発行自体は純資産額や自己資本比率等の厳しい発行資格条件を満たす必要があり「優良企業」であることの証明となります。

今後もお客様の多様化する資金ニーズに対応し、また地元企業の発展と地域づくりへ貢献してまいります。



アローズエンジニアリング
株式会社 様



株式会社 黒田電気商会 様



学校用備品：感染防止カウンター用アクリルボード



体育館用備品：ジェットヒーター

■振り込め詐欺未然防止

複雑化・巧妙化する電話de詐欺の撲滅に向け、店頭やATMコーナーで積極的な声かけ、注意喚起ポスターやパンフレットの掲出を行っております。

また、当金庫職員の振り込め詐欺未然防止が評価され、地元警察署より表彰を受けました。



■6月15日は信用金庫の日

社会貢献活動の一環として、本店駐車場にて職員による献血運動を実施しました。



■ちばしんきん金融教室

例年、当金庫営業区域内の小学校を訪問し、出前授業を実施しております。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から新たな取り組みとして、信用金庫の業務内容等についての説明や職員へのインタビューをビデオで撮影し、小学6年生に放映しました。



■「基準適合一般事業主認定」および認定マーク「くるみん認定」について

千葉労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主認定」を受け、子育てサポート企業として認定マーク「くるみん」を令和元年10月に取得しました。

当金庫は2回目の「くるみん」取得に向けて、仕事と子育てを両立できる職場環境を整備し、引き続き取り組みを進めております。

